

令和6年度 軽音楽部の指導方針等について

令和6年4月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	住谷 哲世			
副顧問	後藤 伸介			
副顧問	長澤 淳史			
副顧問	江崎 進悟			
副顧問	吹上 由加里			
副顧問	松浦 志保里			
副顧問	成田 美帆			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
 - ・楽器奏法等の技術を取得し、生涯にわたって趣味として音楽にかかわる力を育てる。
 - ・生徒が主体となって活動できるように支援し、学年を超えた生徒間の交流を促進する。
 - ・舞台発表等での成功体験を重ねることで、自己肯定感を育てる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
 - ・学園祭での舞台発表に向けて、完成度の高い演奏を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
 - ・仲間と協力し、演奏技術を高め合っていくことを通し、コミュニケーション能力や信頼関係を築き上げていく。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
 - ・練習は、指導者の会議日程等を考慮しながら、火・木曜日の2日間を原則とする。
 - ・必要に応じて、活動場所を確保し臨時の部活動を行う。
 - ・練習時間は1時間程度で、意欲的に活動できるように工夫する
- (2) 練習や試合等の計画
 - ・12月 学園祭
 - ・2月 校内発表（ミニライブ）
 - ・3月 3年生を送る会
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
 - ・部長、副部長、各学年代表等を決めて、一人一人が自主的に部活動に参加できるように支援する。

- (4) 生徒相互の人間関係
 - ・演奏メンバー決め、担当楽器決め、楽曲の選択等、生徒が相互に協議しながら自主的に活動を計画していけるように支援する。
- (5) 学習と部活動
 - ・学習と部活動の両立を図るために、保護者と連携をとりながら指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
 - ・科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問と外部指導員で共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
 - ・運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
 - ・顧問と外部指導員のそれぞれの役割について話し合い、共通理解を図った上で指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
 - ・生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
前期	4	・部活動紹介 ・仮入部期間・・・2, 3年生の演奏鑑賞、楽器演奏体験 ・部長等の係決め、グループ、曲決め（基本練習曲）
	5	（グループ練習）
	6	・グループ練習の成果をお互いに発表し合い確認する。
	7	
	8	・夏季休業中にグループごとの練習、曲決め（学園祭に向けて）
	9	

後期	10	・ 1 2月の学園祭に向けて練習（グループ練習）
	11	
	12	・ 学園祭舞台発表
	1	・ 曲決め（ミニライブ、3年生を送る会で演奏する曲）
	2	・ ミニライブ、3年生を送る会に向けて練習（グループ練習）
	3	・ 音楽室にてミニライブを開催、発表
		・ 3年生を送る会にて舞台発表
		・ 3年生の送別会、反省会（音楽室）
		・ 次年度4月の部活動紹介の練習